

建築・インテリアプロ

NewWave ~ key person

この人に聞きたい
I want to ask this person.

関西で活躍される業界人にインタビュ。今回は、襖引手や建築金物の製造・卸業で大阪・今里にて活躍する株ナガノの代表取締役を務められる長野良雄さんと、ご子息で同じく同社にて営業・広報活動をはじめIT事業をすすめているエグゼクティブディレクターの長野孝豊さんにお尋ねしました。

オヤジ×息子

—まず長野社長にお尋ねします。ご商売を続けられ、もう何年にもなれますが、今までを振り返って一番モットーにしていることは何ですか？

長野：振り返ってみますと、その時に「良い」と思ったことをやって来ました。単なるお金儲けのためじゃなくて、お役に立てる製品や仕組み、そしてツールを作るという気持ちで大切にして来ました。商売は、まず正直さと勤勉さが大事です。そして目の前にあることに一生懸命取り組んで行くこと以外に成功の道はないと思います。私はその目の前にあることが

「良い」ことであるならば、未来は必ず開けると思っています。今日までやって来ました。

—ありがとうございます。それでは仕事をこなして行く上でこのコツというものを教えてください!!

長野：ストレートな質問ですね(笑)。まず、仕事を面白くするために「創意工夫を忘れない」ことです。ただ単に人の真似をしたり、価格を安くしたりするだけでなく、「独自の工夫を盛り込むこと」によって、製品やサービスの存在価値ができてきたり、自身自身の創作の鍛錬になってきます。また、他人が賛成しないことであっても、自分がこうだと信じた道を進んで行くこと、応援してくれる人も自然と現れてくれるものです。ほんと不思議に…。そして、応援してくれた恩人には礼を尽くすことを絶対に忘れないことです。いつ、また自分が助けてもらうかもしれないから…。これは大事なことですよ。

—今度は孝豊さんにお聞きします。お父様とお仕事を一緒にされる前から今現在の心境などを教えてください。

孝豊：僕は小さい時からモノを作ることに興味がありました。社会人になると広告代理店に就職しまして、提案営業や広告制作の企画に携わりました。実際には企画立案の難しさ、おもしろさや営業戦略・マーケティング法、人材育成制度などを学んだり…。そこで受けた様々な経験を今の仕事に活かしていきたい…。とまあこんなことという格好いいですが、正味、今までに身に付けたノウハウをできるだけ活用しようとしているだけです。また、父と同じように、目の前にある「おもしろいもの」「良いと思えるもの」を、ただただこなして来ている昨今です。そして、それが本当に「おもしろくて良いもの」なら、それをが次世代につなげる原動力になると信じています。

—登録商標であるBIDOORについて教えてください。

孝豊：まず、「B」で「ド」と呼びます。「ド」を美しく(飾る)という意味の造語です。何を持って「美しい」とかというの、人それぞれ感じ方があっての違いはあると思いますが、「美しいこと・美」とは、何か良いこと・快いことであり、またそれは「優れたこと」であり、「感動」を人に与える何かであるということではないかと思うんです。そして、美しいものをつくることのできる会社になれば…、そんなに嬉しいことはないんじゃないかと、よく父と話ししています。



長野 良雄氏

長野社長はインターネットラジオ局でパーソナリティをしています。「5時の社長室」毎週水曜日放送。ポッドキャストにも対応!! URL <http://www.shachoshitsu.com/>



長野 孝豊氏



これからも、皆力合わせて頑張って行きます!!

株式会社 ナガノ 〒537-0014 大阪市東成区大今里西1-25-4 TEL.(06)6972-3824代
Eメール info@bidoor.co.jp URL <http://www.bidoor.co.jp/> FAX.(06)6974-3865代

—どうもありがとうございます。それでは、御社様の新しい取り組みを教えてください。

孝豊：はい。現在、建築金物の通販サイト「BIDOOR」の立ち上げ準備をしております。このBIDOORの会員になっていただくことで、様々な特典サービスが付いてきます。例えば、①BIDOORの製品が一般WEB価格よりも割引購入できる。(※割引率は時期によって変動する場合があります。)②新製品お得情報をメールで確認できます。(期間限定のセール品のご案内や新製品案内、また今後のサービス情報など。)③入会費、年会費無料など、気になる会費は無料。(簡単な手続きでどなたでもご入会でき、すぐに特典サービスの利用が可能。)

↓
<http://www.bidoorpal.com/> *携帯は <http://www.bidoorpal.com/mobile/>)

「BIDOOR」の「PAL」マークですが、「朋」という漢字からできた「BIDOOR」のトレードマークです。「朋」という字は、もともといくつかの貝をひもでつらぬいて「すじ並べたさまを描いたもの」という説があり、同等のものが並んでいる意味を含んでいるようです。その後、「肩を並べた仲間」という意味や「同じ理念・考え方を持った仲間」のことを指すようになってきたと言われています。インターネットの世界は広大で深遠です。そのどこから繋がっていったただの方々は我々の「PAL」仲間「仲間」なのです。今後、より多くの「PAL」仲間「仲間」と出会い、お互いが刺激しあえる関係であり続けたいという願いをこめて、この「BIDOOR」 というサイトを運営していきたいと考えています。

—今回は以上です。取材御協力ありがとうございました。(聞き手：眞原文律)